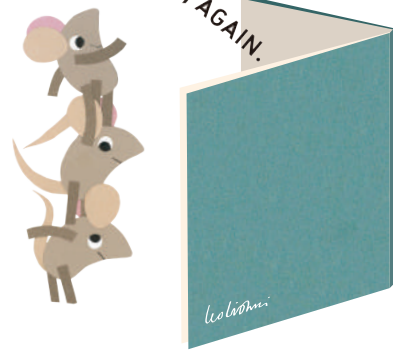


みんなの レオ レオーニ展

READING LEO LIONNI, AGAIN.



2018. 8.11 (土・祝) - 9.24 (月・振休) 伊丹市立美術館

主催：伊丹市立美術館 [公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / 伊丹市]、朝日新聞社 共催：伊丹市教育委員会
企画協力：Blueandyellow, LLC、コスモマーチャンダイズィング、渋谷出版企画 協力：好学社、あすなろ書房、至光社

入館料：一般 800(700) 円、大高生 450(350) 円、中小生 150(100) 円 * () 内は 20 名以上の団体割引 * 兵庫県内の小中学生はココロカード呈示にて無料

赤い色をしたきょうだいたちの中で、唯一黒い魚の物語『スイミー』は、小学校の教科書に掲載され、日本全国で親しまれています。その作者として知られるレオ・レオーニ (1910 - 1999) の創作世界を紹介します。イタリアやアメリカでグラフィック・デザイナーとして活躍した後、49歳のとき、孫のために制作した『あおくときいろちゃん』で初めて絵本の世界に足を踏み入れました。その後、ねずみの『フレデリック』や、しゃくとりむしの『ひとあしひとあし』など、小さな主人公たちが「自分とは何か」を模索し、自分らしく生きることを学んでいく物語を、水彩、油彩、コラージュなどさまざまな技法を用いて描きました。本展では、ヨーロッパとアメリカを移動し続けたレオーニの波乱の生涯と重ね合わせながら絵本原画を紹介するほか、アート・ディレクターとしての仕事、絵画、彫刻など幅広い活動を約 200 点の作品で紹介し、レオーニが子どもの絵本に初めて抽象表現を取り入れるに至った道筋にも光を当てます。日本に上陸するスイミーの原画も見どころです。

展示のみどころ！

●● 絵本『スイミー』の原画来日 ●●

世代を超えて日本中で愛されている絵本『スイミー』の幻とされた原画 (スロヴァキア国立美術館所蔵) が来日します！
計 5 点の原画は絵本『スイミー』の絵とは少し違うので、ぜひ会場でじっくりご覧ください。

●● 関連イベント ●●

詳細が決まり次第、ホームページおよびチラシ、プレスリリース更新にてお知らせいたします。

●● 連携企画「子どもも楽しめる 3 つの美術館をまわろう！」 ●●

「みんなのレオ・レオーニ展」を含む阪神間で開催されている 3 つの展覧会で入館料の相互割引をいたします。

レオーニ展の半券を下記の展覧会チケット販売窓口でご呈示いただくと団体料金でご覧いただけます。

また、下記の半券をレオーニ展のチケット受付でご呈示いただくと団体料金に割引いたします。

「チャベック兄弟と子どもの世界」展 / 芦屋市立美術博物館 / 開催中 ~ 9月9日 (日)

「2018 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展 / 西宮市大谷記念美術館 / 8月11日 (土) ~ 9月24日 (月祝)



「フレデリック」1967年
Frederick © 1967,
renewed 1995 by Leo Lionni/Pantheon

本展担当：岡本 梓 (学芸員) / 広報担当：齊藤・玉澤 〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-20 tel. 072-772-7447 / fax. 072-772-5558

出展作品から参考画像 作品は全て：Works by Leo Lionni, On Loan By The Lionni Family



「アレクサンダとぜんまいねずみ」1969年
Alexander and the Wind-up Mouse © 1969,
renewed 1997 by Leo Lionni/Pantheon



「せかいいちのおきなうち」1968年
The Biggest House in the World © 1968
by Leo Lionni, renewed 1996/Pantheon



「おんがくねずみジュラルディン」1979年
Geraldine, the Music-Mouse © 1979
by Leo Lionni/Pantheon



「ベツェットーノ」1975年
Pezzettino © 1975 by Leo Lionni, renewed 2004
by Nora Lionni and Louis Mannie Lionni/Pantheon